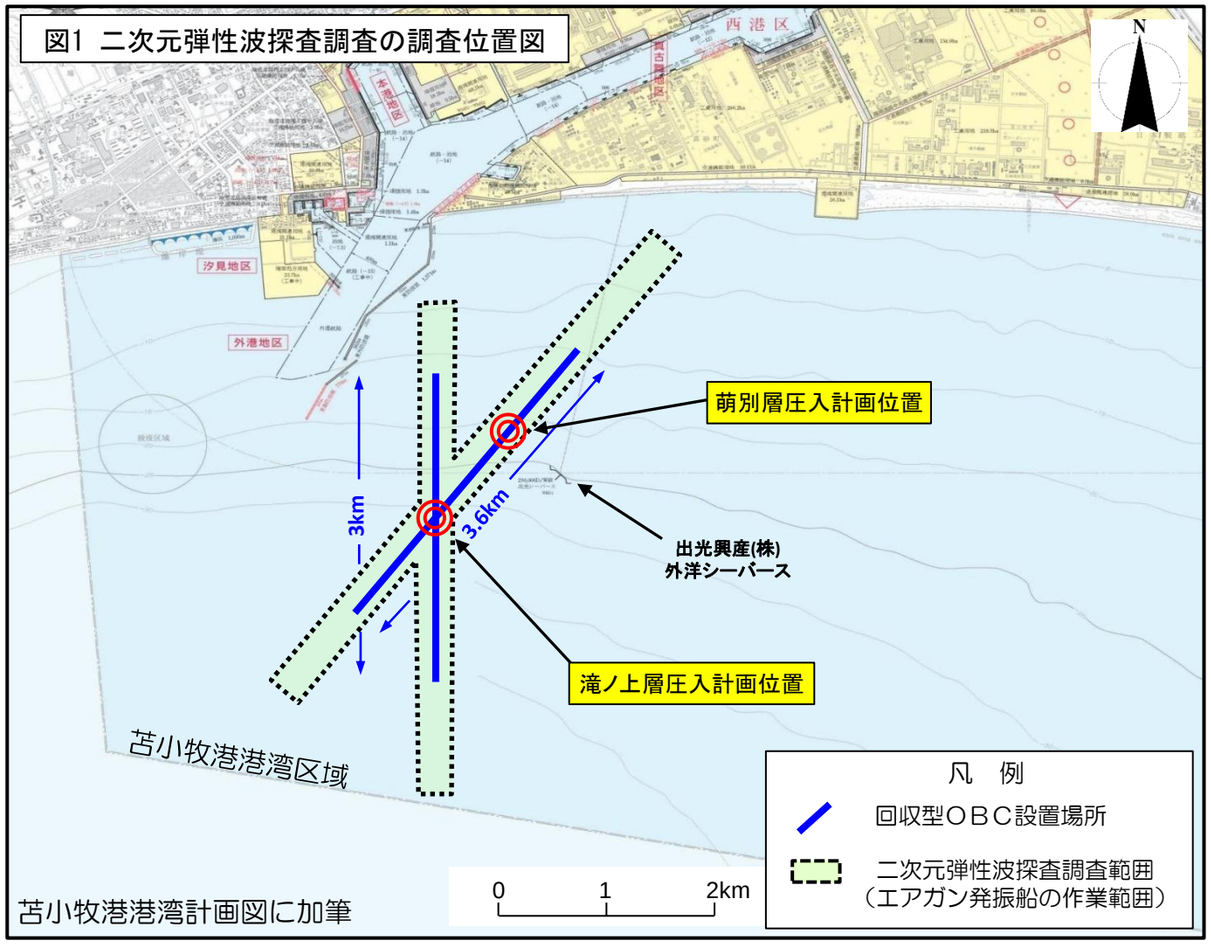
平成25年8月
日本CCS調査（株）

苫小牧地点におけるCCS大規模実証事業：二次元弾性波探査の実施について（経済産業省委託事業）

1. 概要

苫小牧におけるCCS実証試験では、苫小牧港港湾区域内（図1）において、回収型の海底受振ケーブル（OBC：Ocean Bottom Cable）を使用した二次元弾性波探査を実施致します。



2. 調査方法

CO_2貯留対象地点の直上付近の海底面に、長さ3kmおよび3.6kmの回収型OBCを一時的に設置し（図1）、その周辺で発振船で曳航するエアガンにより音波（振動）を発振して、地層境界面からの反射波データを取得します（図2）。

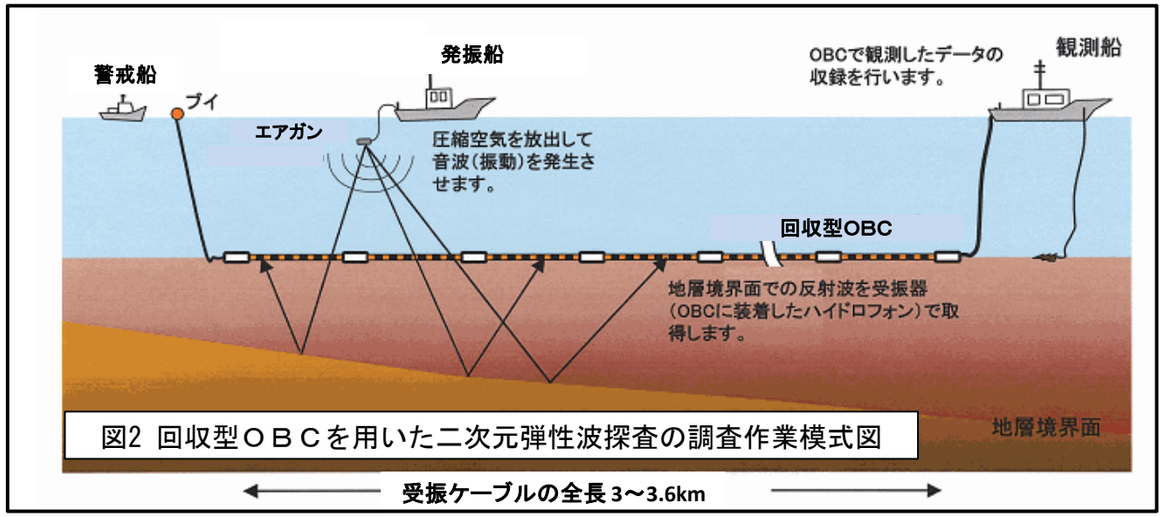


図2 回収型ＯＢＣを用いた二次元弾性波探査の調査作業模式図

写真1 エアガン発振作業状況（2009年調査時）

写真2 回収型OBC

3. スケジュール

作業項目	平成25（2013）年 8月																															
	0									10										20												31
観測準備（調査船艤装）							■	■	■	■																						
観測作業（海域作業）												■	■	■	■	■	■	■	■	■												
撤収（調査船解装）																						■	■	■								
予備日																									■	■	■	■				

＊ 調査の作業時間は、原則として8:00～17:00の間で、夜間作業は行いません。

＊ 天候や海況によって、多少調査期間の変更があり得ます